

1971-SPRING
Intensive Courses in English



第7回英語特訓本課程—13週間・企業向け特訓課程—各4週間

LIOJ特訓課程は、英語というメディアを通じて、世界の平和と繁栄に具体的に貢献する人物をつくることを目的として、昭和43年3月に開講いたしました。

短期間に、かつ集中的な特別教育をするために、受講生にはかなりの負担と思われるのですが、過去6回におよぶ受講生は、全員これに堪えて、すでにその多数の方々が海外留学、又は海外の勤務先で大いに活躍しておられます。

「生きた英語」という建前から、日本語は一切使わず、すべて英語による若い外人講師との共同生活は、日本人特有の外人コンプレックスをとりのぞき、英語力の自然な発達を促す上に非常に効果があがったと好評をうけております。

スタッフには第一高等学校(旧制)、青山学院大学等で教鞭をとられ、我国の英語教育には特に経験の深いローランド・ハーカー先生夫妻を中心にアメリカ一流の各大学から12名の男女講師が来日、その他青山学院大学のウイルキンソン教授、同時通訳の西山千氏らも顧問として参加されます。

言語はその国の生活と文化の総合的な表現であり、言葉を知ること、その国の本当の姿を知ることでもあります。将来、世界に雄飛し、東西文化の融合につくそうと思われる方々が、ふるって参加されることを希望いたします。 —財団法人 MRAハウス 代表理事 波沢雅英

■場所 LIOJ(神奈川県小田原市 アジアセンター)

授業と生活が行われ、アジアセンターは、箱根を背に相模湾に面した素晴らしい景勝の閑静な所。地下2階地上5階の近代的建物には教室、図書室、食堂、宿泊室、大ホールなど完備しています。

小田原駅(小田急、東海道線)より車で5分。





The more the world shrinks in size through technical advance, the more necessary it is to reach across national barriers. The ability to understand and communicate by means of English becomes more important every day.

Our intention here at the Language Institute of Japan is to make this communication possible in the quickest and most efficient way.

We are committed to the idea that English is learned through use rather than by analysis and the study of grammatical rules, that real mastery of a language requires

familiarity with the culture which has produced it, and that English, to be fully appreciated as an international language, requires a world outlook.

These are the things we aim to give at the L.I.O.J.

Rowland Harker

LIOJ
STAFF FOR
SPRING TERM
1971



Miss Toneko Kimura
(Director of Studies)



Miss Ann Barber
University of Redlands
(California)



Miss Carol Jo Bullen
Chatham College
(Pennsylvania)



Miss Judith Craig
Mackinac College
(Michigan)



Mr. Michael Davidson
Occidental College
(California)



Miss Melinda Evans
University of Washington
(Washington)



Miss Kay Guffey
University of Redlands
(California)



Mr. Ted Hamilton
University of California,
Berkeley (California)



Miss Sheryl HetJonk
Occidental College
(California)



Mr. Larry Johansen
Lewis & Clark
(California)



Mr. David A. Orr
San Francisco State
College (California)



Mr. Gregory Peterson
La Verne College
(California)



Miss Betty Price
Whitworth College
(Washington)



Miss Beryl Wright
Macalester College
(Minnesota)

Advisor and Teacher
Advisor and Lecturer
Student Advisor
Director and
Business Manager
Executive Director
MRA Foundation

Mr. Hugh Wilkinson (Professor, Aoyama Gakuin University)
Mr. Sen Nishiyama
Mrs. Rowland Harker
Mr. Nobuo Hattori
Mr. Masahide Shibusawa

第7回英語特訓本課程—13週間

■目的および特色

本課程は、13週間の全寮制による英語集中教育を通して英語の読解力を完全にし、海外での勤務、留学、国内での英語による勤務をより円滑にするための英語力を育成するとともに、流動する世界に雄飛し、東西文化の融合に貢献する新しいタイプの日本人に教育する事を目的とします。

■入学資格

男性・女性・年齢・学歴に関係なく、高校卒業程度の基礎英語力を有する方。

■期間

開 講 式 昭和46年4月12日(月)

休 日 各日曜日及び5月3日

修了証書授与式 昭和46年7月10日(土)

休日の前日午後から、校長の許可を得て帰宅、帰省する事ができます。

■次の主な講義と実習科目を13週間にわたり行ないます。

1. パターン・プラクティスを主体とした「生きた英語」の基礎訓練、音声学、イントネーション、表現法の演習。
 2. 英語発想による英作文の学習。
 3. スポークイングの技術向上のための強化実習、最新の視聴覚教育の実地演習。
 4. 海外時事問題の研究。
 5. 海外生活に必須のマナーの実習。(女子学生のための海外生活に役立つ特別クッキングレッスンも希望があれば行う)
 6. 各種ヒアリングの訓練と講義。
 7. パブリック・スピーキングの演習。
 8. スペリング、語彙、速読の勉強法の習得。
 9. フォーマルディナーパーティ。
 10. 選択科目：英文学、新聞編集、英文タイプ、西洋史、社会学、エチケット、アメリカ大學生生活等の特別講座。
 11. スピーチコンテスト。
- 自由時間や食事・お茶の時間には小グループで国際間の政治・経済・宗教から海外留学や、人生観に至るまで外人講師と話し合う機会もあります。

■受講費用

授業料、器具使用料、一般生活費(宿泊、食費等)

①週間 20,000円×13週……………合計 260,000円
別に受講申込金(受講申込書に添える)…………… 5,000円

■1日のスケジュール

後記、企業向特訓課程—と殆ど同じです。

企業向け特訓課程—各4週間

■目的および特色

海外勤務、貿易事務、国際会議などに参加される方々を対象に、LIOJが特に企画したプログラムです。4週間の短期間、全寮制による集中教育を通して海外生活で要求される英文読書の速度と理解力を促進し、論文の発表、スピーチコンテスト、演習などによる豊かな表現力を育成して海外での勤務をより円滑にすると共に、流動する世界に雄飛し、東西文化の融合に貢献する新しいタイプの世界人に教育することを目的とします。

この課程は人数も制限し効果を高めるよう受講生数名に外人スタッフが専属して、海外出張や駐在に役立つ生活態度の実習、世界の実務事情と地域研究の特訓科目の指導に当たります。

■期 間

- 昭和46年4月12日～5月8日（4週間コース） *各期共、4週間コースを修了の上、更に
- 昭和46年5月10日～6月5日（4週間コース） 仕上げの1週間を加えた5週間コース
- 昭和46年6月7日～7月3日（4週間コース） も、ご希望があれば申し受けます。

■各期とも次の主な講義と実習科目を4週間にわたり行ないます。

1. パターン・プラクティスを主体とした「生きた英語」の基礎訓練
2. 海外時事問題の研究と海外生活に必要なマナーの実習
3. 受講生の選択により国際商業・銀行・技術の各分野に必要な特殊英語の研究講座
4. ビジネス・マナーおよび電文を含めた英作文の演習
5. 英会話技術を向上させるための会話実習

6. パブリック・スピーキングの学習研究
7. 本課程修了後も、独学で強化訓練できる速読、スペリング、語彙の勉強法の習得
8. 英文タイピングの実習（選択科目）

期間中は学習以外の食事、運動、レクリエーションなどの生活の全てが英語によって行なわれるので海外生活の雰囲気の中で、欧米文化の本質と感覚を自然に体得します。

■受講費用

授業料、器材使用料、食事、宿泊等一般生活費及び雑費（一週間）

36,250円×4週 合計 145,000円 別に受講申込金（申込書に添える）…………… 5,000円

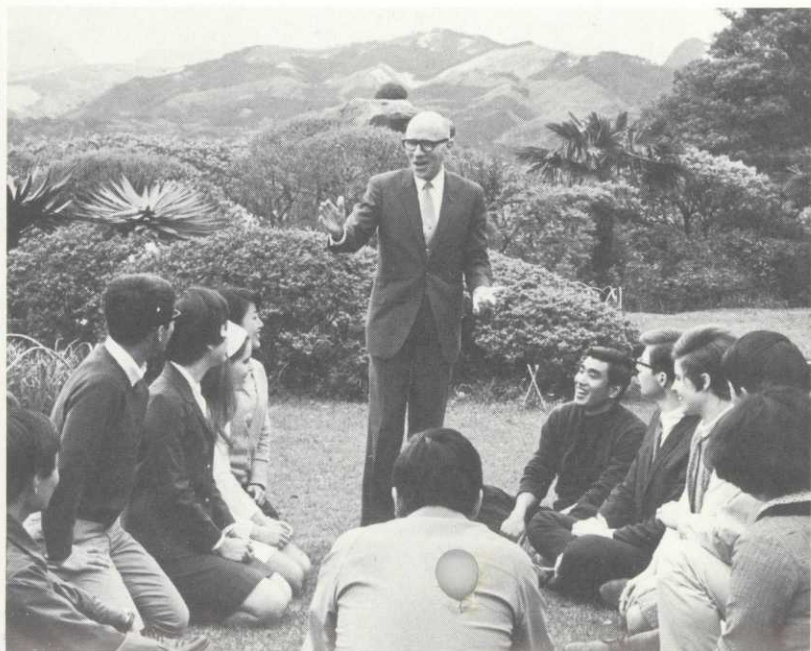
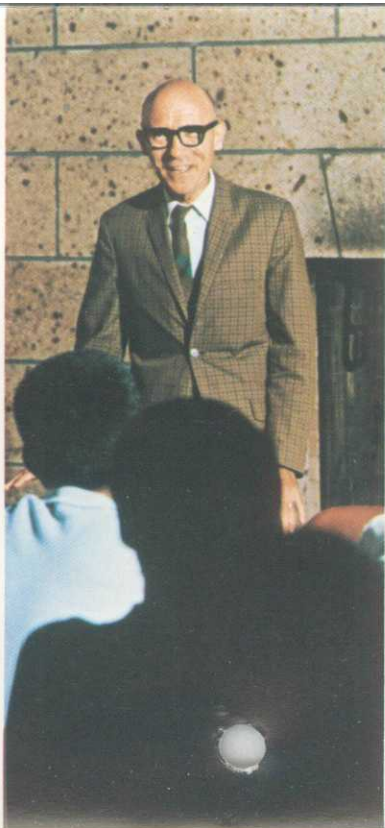
■1日のスケジュール

- 7:30……………朝食
- 8:00～12:10……………インストラクション5課程
- 12:15……………昼食
- 1:00～3:00……………課外活動、自由時間
- 3:00～5:30……………インストラクション（ランゲージ・ラボ演習）
- 6:00……………夕食
- 7:00～9:00……………LL演習及び自習時間

週末には映画、音楽、ハイキングなど特別プログラムがあります。

このプログラムは全面集中教育で、授業演習から食事、スポーツ、レクリエーションにわたる生活の全部を英語で行い、日本語は一切使いません。

LIOJ
LANGUAGE
INSTITUTE
OF
JAPAN



- LIOJ 第1回 特訓本課程 (1968年3月～7月)
第2回 " (" 9月～12月)
第3回 " (1969年3月～7月)
1969年 夏休み英語特訓およびワークショップ (7月～8月)
第4回 特訓本課程 (10月～1970年2月)
第5回 " (1970年3月～7月)
1970年 夏休み英語特訓およびワークショップ (7月～8月)
第6回 特訓本課程 (10月～1971年2月)
冬期および春休み特訓課程 (1971年1月、3月)
第7回 特訓本課程 (4月～7月) 申込受付中
1971年 夏休み特訓およびワークショップ (7月～8月)
第8回 特訓本課程 (10月～12月)
冬期英語特訓課程 (1972年1月～3月)
春休み特訓課程 (3月)

■エムアールエイ・アジアセンター 神奈川県小田原市十字4-1007 〒250 TEL:0465-22-6133

■エムアールエイ・ハウス 東京都港区南麻布4丁目9番17号 〒106 TEL:445-5111